

# 日本長期急性期病床（LTAC）研究会 第7回研究大会

## 地域医療構想と地域包括ケアの 徹底検証

【開催概要】 日 時：2019年10月27日（日） 10:00～16:00  
会 場：国際医療福祉大学 赤坂キャンパス  
大会長：高橋泰（国際医療福祉大学大学院  
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 学部長 教授）  
参加費：会員 5,000円 非会員 7,000円（事前登録制）  
定 員：120名 ※定員に達し次第、受付を終了致します。

【主催・お問い合わせ】 日本長期急性期病床研究会  
〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5 ャトル市ヶ谷 2階  
TEL:03-3355-3120 FAX:03-3355-3122  
Email:info@ltac.jp ホームページ :<http://ltac.jp>  
※プログラム、参加申込は裏面をご参照ください。

### 日本長期急性期病床 (LTAC) 研究会 第7回研究大会の開催にあたって 大会長 高橋泰

少子高齢化に向けて地域での医療介護提供体制を押し進めるための2大指針は「地域医療構想」と「地域包括ケア」である。今回の大会では先鋭的な論客に集まいただき、この2つのビジョンの現状および今後の進展に関して徹底検証を試みる。

午前のシンポジウムは、現在、地域医療構想においてビッグデータを駆使して地域医療構想の議論を引っ張っている奈良県立医科大学の今村氏に学者の立場から、厚生労働省から青森県庁出向時代に地域の病院の大規模な改革を実行した京都市の一戸氏に行政の立場から、ICTを駆使し先進的な経営で地域医療を支える石川氏には現場の立場から、地域医療構想を現在どのように見ているか、今後地域医療がどのように変わっていくかなどについてプレゼンおよび討議をしていただく。

大会長である高橋は、全国・全医療圏を訪問し、各地の取り組みをこれまで観てきている。午後のシンポジウムでは、これまでの経験の中から選りすぐりの地域の元気な取り組みを紹介する。島根県の隠岐島前病院の白石院長には離島でありながら日本で最も先鋭的と言える地域医療の取り組みを、群馬県沼田市の内田病院の田中理事長には先進的な認知症ケアを中心とした取り組みを、志摩市民病院の江角院長には過疎地の傾いた市民病院の立て直しと地域を巻き込んだ取り組みを、富山市のアルペンリハビリテーション病院の室谷理事長には富山で住民を巻き込んだ街づくりの取り組みを、福岡市の原土井病院の原副理事長には、大都市でのICTを活用した地域医療の取り組みをご紹介いただく。

皆様に奮ってのご参加をお願いしたい。

# プログラム

10:00～10:10	開会挨拶 会長：上西紀夫（日本長期急性期病床研究会 会長） 大会長：高橋 泰（国際医療福祉大学大学院 教授）
10:10～11:50	シンポジウム1「地域医療構想の徹底検証」
	座長：小山信彌（東邦大学医学部 特任教授） 小山秀夫（兵庫県立大学大学院 特任教授） 演者：今村知明（奈良県立医科大学 教授） 一戸和成（京都市保健福祉局健康長寿企画課 担当課長） 石川賀代（H I T O病院 理事長）
12:00～12:20	日本長期急性期病床研究会 2019年度総会 ※会員対象
13:00～15:55	シンポジウム2「若手経営者が語る LTAC（地域包括ケア）的病院経営」
	座長・演者：高橋 泰（日本長期急性期病床（LTAC）研究会 第7回研究大会 大会長） 座長：仲井培雄（芳珠記念病院 理事長） 演者：①白石吉彦（隠岐島前病院 院長） ②田中志子（内田病院 理事長） ③江角悠太（国民健康保険志摩市民病院 院長） ④室谷ゆかり（アルペンリハビリテーション病院 理事長） ⑤原 祐一（原土井病院 副理事長） <span style="float: right;">(敬称略)</span>
15:55～16:00	閉会挨拶

総合同会：森 孝志（日本長期急性期病床研究会 幹事）

## 参加申込書

**FAX：03-3355-3122**

日本長期急性期病床研究会

**申込締切：2019年8月30日（金）**

LTAC  
どちらかに○→ 会員・非会員

ご所属 \_\_\_\_\_  
(〒 \_\_\_\_\_)

住所 \_\_\_\_\_

連絡担当者氏名 \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

No.	ふりがな 参加者氏名	役職	職種
1			
2			

※定員に達し、参加受付を修了した場合は、お申し込み後3営業日以内にご連絡いたします。  
9月上旬頃、連絡担当者様宛に参加案内と参加費請求書をお送りいたします。